

## 1. 総 括

2019年度は、Aチーム4名、Bチーム8名の12名でスタートした。

Aチームでは、自閉症スペクトラムの方々が見通しをもって自立した活動ができるよう支援をすすめた。自立課題の再構造化や個々に合わせたスケジュールの見直しもおこない、よりスムーズな日中活動がおこなえている。また、室内運動の種類を増やしリニューアルをおこなえたことでわずかながら運動量が増えた。

昨年度の実習を経て、高校卒業後ダックへの移行となった新しい仲間も迎えられた。実習時より問題行動が見られ、学校や相談支援事業所、ご家族とケース会議を開きながらCCVダックでの支援について話し合う機会を受け入れ前から行ってきた。受け入れ後も、外部コンサルテーションの助言を受け再構造化を繰り返し、ご家族とも日々情報を共有しつつ支援を進めてきた。しかしながら8月に居住地にある他事業所への移行が決まり退所になってしまったが、CCVダックとしての支援方針を職員間で統一し、みな同じ支援をするということができたと思う。

Bチームでは、「はたらく・たのしく・たくましく」をモットーにメリハリを意識した支援をすすめた。新しくペン作業や納品が入り、利用者の皆さんも意欲的に取り組む姿が見られた。従来のわんこのおやつ製造も製造量が増加したり、ATM清掃もスムーズに取り組めてきている。また、天気の良い日には散歩を取り入れ体を動かしたり、創作活動ではCCVダックの看板やクリスマスツリーなども作った。

その他貯金のサポートや作業内容のマッチングなども行い、一人ひとりに寄り添いながら可能な範囲内での個別対応、個別支援を組み立てられた。

また支援の連携として、相談支援事業所や他事業所、県の障害者総合相談支援センターの方にも入っていただいていたケース会議を定期的に行っている事例もあり、本人の行動記録、情報の共有、支援方針等、外部との連携がより良い支援につながってきている。

また、ある利用者さんの問題行動の減少、発語の増加が見られた。安心安全のもと、本人の状況に寄り添いながらAチームBチームのグループを越えて柔軟な支援体制でサポートできたことが功を奏したのではないかと思われる。

今後もダックの強みでもある個別対応力を生かして利用者さんの気持ちに寄り添いながらの支援を心掛けていきたい。

## 2. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	137
退所者数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
稼働日数	20	21	20	22	19	19	21	20	20	20	18	21	241
延利用者数	216	215	217	235	181	190	195	199	196	187	181	207	2419
1日平均利用者数	11	10	11	11	9.5	10	9.3	10	9.8	9.4	10	9.9	10.04

※主な欠席理由…体調不良、精神不安定、家事都合、他事業所と併用利用

### 利用者障害程度区分 (令和2年4月現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
1人	4人	1人	5人

※平均区分 4.9

## 3. 担当職員 (5.4名)

サービス管理責任者：青木

看護職員：板鼻

生活支援員：福田、富澤、野尻、降矢(週3)、井端(月1)

運転手：宇賀神

## 4. 年間支援実施内容

### ・日課 Bチーム

9:30 登所、検温

9:50 朝の会、ラジオ体操、掃除

10:15 お茶の時間

10:30 午前の活動

月：公園ごみ拾い、火：リサイクル散歩、水：ATM 清掃

木：リサイクル散歩、金：リサイクル散歩

12:00 昼食・ハミガキ

12:30 休憩場所に移って過ごす

13:00 午後の活動

月：下請け、火：クリーンセンター、水：下請け

木：下請け、金：クリーンセンター

15:00 お茶の時間

15:30 帰りの会

16:00 帰宅

※Aチームは、個別のスケジュールを組み立て、自立課題、1 to 1、掃除活動、サーキット運動、踏台昇降、散歩等いろいろな活動を行い、ルーティーンにならないように毎日スケジュールを変更した。

• 軽作業：わんこのおやつ製造販売、ペットボトルリサイクル、ATM 清掃  
ペン梱包作業

• 余暇活動 4月 お花見

5月 ナイスハートスポーツ広場（上三川）

6月 外食体験 ラーメン山いち

7月 大笹牧場 焼肉と散策

8月 夕涼み会

9月 とちの木ファミリーランド

10月 みかも山<sup>®</sup> 日光だいや川公園<sup>®</sup>

11月 SL 大樹に乗って鬼怒川温泉散策

12月 劇団四季観劇、クリスマス会

1月 成人を祝う会

2月 豆まき

3月 ひな祭り

その他、毎月工賃支給日の買物を実施した。

## 5. 成果と課題

### (1) 日中活動支援

#### 日 課

成果 ・個々にあったスケジュールの形式の見直しができるようになった。今後もモニタリング時など定期的な振り返り（活動内容・スケジュール等）を行っている。

・Aチームでは見通しを持って自立した活動ができるようスケジュールや環境の調整ができた。変化に合わせてその都度見直しをしていきたい。

・笑顔も多く、楽しくすごせた。

課題 ・スケジュールや活動内容の見直しとタイマー以外の動き出し方の検討が必要な方もいる。

・1 to 1 の活動内容見直し必要

・より細かな活動内容の組み立てができなかった。

#### 軽作業

【わんこのおやつ製造】 年間製造量 61.8Kg 売上 352,185円

- 成果
- ・生産量が増えボーナスが支給ができた。
  - ・湿度管理を徹底することで、白く焼けてしまうことを防ぐことが出来た。
- 課題
- ・安定的な製造ができず、おやすみが続いたり、製造が集中してしまうことがあった。
  - ・新しく天板を追加したが、生産量に見合っていない

【ATM清掃作業】 78回/年 工賃 56,270円/年

- 成果
- ・地域に出て社会参加できる場として意欲的に取り組んでいる。
  - ・掃除スキルが向上してきた。
- 課題
- ・ATM作業工程の見直し、チェックリストの作成、細分化して組める利用者を増やす。

【リサイクル作業】

- 成果
- ・ペットボトルの分別作業、段ボール、紙ゴミの回収、リサイクル作業を行った。
  - ・集めたポイントで麦茶を購入したり、余暇活動の費用に充てた。
- 課題
- ・取り組める利用者は多いが、得られる収入は少ない。
  - ・ペットボトルが室内にたまり不衛生。

【下請け作業】

- 成果
- ・新しいボールペン作業に意欲的に取り組む姿が見られた。
  - ・下請け作業があると活動にメリハリがつく。
  - ・ペンの梱包は、何の作業をしているのか利用者さんにもわかりやすい。

## 余暇支援

- 成果
- ・今までに行ったことのない場所や、新しく開催した余暇活動もあり、季節感も感じられる余暇が組み立てられた。
  - ・夕涼み会ではボランティアさんにも参加していただき、皆さん楽しく参加できた。
  - ・SL大樹では、普段体験できない電車に乗るといった活動も体験できた。
  - ・体重の減量が課題になっている方が多いため、体を動かすことを中心に、散歩やハイキングの活動も積極的に取り入れた。
- 課題
- ・ダックの車両だけでは全員参加の行事では乗りきれずレンタカーを借りることもあり利用者さんの費用負担が増える。
  - ・成人を祝う会は当事者以外は余暇活動にはならない。
  - ・アンケート調査では、宿泊や遠方への旅行の要望があった。

## (2) 生活支援

生活体験（トイレ掃除、買い物、テーブル拭き、調理、貯金のサポートなど）

- 成果
- ・普段はなかなか取り組まない調理にも参加し、自分で皮をむいた野菜だ！と感じながら食べることができた。
  - ・工賃買い物では、自分で買いたいものを選択できる方が増えた。
  - ・公園のゴミ拾いでは進んでゴミを拾う利用者さんも多く見られた。

- 課題
- ・工賃買い物では食べ物類のお店が多かった。
  - ・ごみ拾い時の用具が足りなかった
  - ・具体的な生活につながる体験を増やしたい。（インスタントコーヒーを自分で入れる、カップラーメンを自分で作る、サンドイッチを作る等）。

健康管理（体温測定、血圧測定、体重測定、口腔ケア、定期健康診断、インフルエンザ予防接種、感染症予防の啓発など）

- 成果
- ・手洗いうがいも継続できていて、散歩などで体も動かし、健康を維持できている。
  - ・大きな病気や怪我などもなく、欠席者も少なかった。

- 課題
- ・運動など取り組んでいるが、体重は依然増加傾向。

## 6. 職員会議、支援会議

### (1) 職員会議

毎月1回開催し、管理・運営会議の決定、方針に基づき、事業所全般の業務執行に関する審議・決定を行ってきた。

4/20（土） 余暇総括、職務分担表の確認、研修報告など

5/18（土） 余暇総括、ヒヤリハット報告、運営会議報告など

6/22（土） 余暇総括など

7/20（土） 余暇総括、備蓄品の購入についてなど

8/24（土） 余暇総括、ヒヤリハット報告、研修報告など

9/21（土） 余暇総括など

10/26（土） 余暇総括、研修報告、主任会議・運営会議報告など

11/16（土） 余暇総括、ヒヤリハット報告、研修報告、消防訓練計画など

12/21（土） 余暇総括など

1/26（土） 余暇総括、主任会議・運営会議報告など

2/ 8（土） 余暇総括、主任会議報告、きょうされん報告など

3/ 7（土） 3月・4月の予定について

## (2) 支援会議

PDCAサイクルを意識した支援会議を実施した。

サービス等利用計画に基づいて家族の方や本人の情報を共有しながら計画の見直しを行い、支援会議にて個別支援計画の策定を行った。

ケース会議を通して、相談支援員や他事業所と情報の共有を行った。

4/20 (土) 個別支援計画策定 (5名分)

誕生日会について、縄岡コンサル報告など

5/18 (土) 個別支援計画策定 (4名分)、外食体験について

6/22 (土) Hさんケース検討、介護アンケート報告など

7/20 (土) 縄岡さんコンサル報告、生活評価表について、COCOVOの日調理体験について、8月誕生日会についてなど

8/24 (土) 調理体験についてなど

9/21 (土) 個別支援計画策定 (1名分)

10/26 (土) 個別支援計画策定 (6名分)

11/16 (土) 個別支援計画策定 (4名分)

12/22 (土) CCVダックの支援について

1/26 (土) 個別支援計画策定 (1名分)、誕生日カードの確認など

2/ 8 (土) Nさんケース検討

3/ 7 (土) 個別支援計画策定 (1名分)

## (3) 総括会議

2/8 (土)PM、15 (土)

### 【協議事項】

- ・2019年度 事業報告及び年度のまとめ

3/7 (金)PM、14 (土)

### 【協議事項】

- ・令和2年度 事業計画及び年度方針

## 7. 職員研修

7/26 社会福祉施設中堅職員研修 (板鼻)

9/30 問題行動のある知的障害者の見立てと支援 (青木)

10/29 人材育成の基本～ティーチングとコーチング (青木)

11/30 栃木県自閉症協会 梅永先生講演会 (成田・福田・板鼻・青木)

その他大妻女子大学 人間関係学部 助教 縄岡好晴氏による研修

## 8. 安全・安心

### (1) 防災管理

消火、通報、避難誘導の訓練を実施した。

- ① 5月20日(月) 13時15分～
- ② 11月25日(月) 13時30分～

備蓄品(保存水、カンパン、防水ライト、簡易トイレ、防災用ウエットティッシュ)を購入した。

災害時における防災マップ、関係情報一覧表の掲示をした。

### (2) 危機管理

事故・ヒヤリハット

- ・利用者 5件 (お金の紛失、転倒など)
- ・職員 1件 (車両事故)

毎月事故・ヒヤリハットを職員・支援会議で報告・共有し、その後の対応を話し合った。

### (3) 苦情解決

受付 0件

見えない苦情を拾うため、アンケートを実施。結果もまとめて報告した。

### (4) 虐待防止

毎月の職員会議で虐待と感じたことを話し合った。

会議で話し合ったことで虐待を意識し、虐待防止への感心を高めることができた。

家庭からの要望により安全確保のために車いすに乗っていただいている方には、身体拘束に関する説明書の記入をしてもらった。

## 9. 送迎の実施

- ・坂下コース、坂上コース、南コースの3コース運行 12名の利用  
送迎担当者や乗る利用者の変更時は、その都度送迎表の更新を行った。  
送迎に関する連絡事項は、ホワイトボードや月間予定表ボードに記入を行い確認を行った。
- ・車両の定期的な拭き上げ、洗車を行ったことできれいな状態を保てた。

## 10. 地域・関係機関との連携

### (1) 広報・宣伝

広報紙の発行、HPの更新管理

- かいごだよりを毎月数発行した。カラー発行も増やした。
- FBでの広報7件（余暇活動など 1つの原稿に「いいね」は10人前後）
- CCVだよりの編集委員会がなく、計画的でなかった。

(2) 家族支援

- 個々の家族との面談の機会をもった。
- 連絡帳や送迎時など、家族からの要望に応じた。
- 家族からの急な送迎の変更などに対して柔軟な対応を行った。

(3) 特別支援学校、学級実習生の受け入れ

2019年度は実習生の受け入れがなかった。

利用につながる実習生の募集をしていきたい。

(4) ボランティアの受け入れ

ボランティアの参加を得たことで余暇活動の体制も安定した。

ボランティアさんも楽しんでいただけているようなので、余暇活動に合わせて募集をしていく。

定着はできていない。

(5) 関係機関

関係者会議を定期開催することで課題と目標の共有ができた。

相談支援事業所やグループホームなど本人を取り巻く環境で関わっている担当者と利用者の基本情報の聞き取り、状態把握、サービス等利用計画について確認を行った。

## 11. その他

### 環境整備

- 清掃活動の実施。（靴箱、窓拭き、トイレなど）
- 除草作業。
- 千手山公園のトイレ掃除、ゴミ拾いを行った。
- A チーム水道蛇口レバー交換
- B チーム水道修理
- 玄関に監視カメラ設置
- 雨漏り、天井の修理、ハクビシン退治をしたい。

## 1. 総括

日中一時支援事業は、障害のある方の家族の一時的な休息、あるいは労働保証をするために障害のある方に日中一時的に活動の場所を提供する場である。CCVダックの日中一時支援も障害の枠にとらわれず幅広い視野から地域で暮らす全ての方の様々なニーズに対して心のこもったサービスの提供を目標としてサービスの提供を行ってきた。

B型事業所利用の方や生活介護利用の方などが幅広く利用になり、限られた職員の中で様々なニーズに合わせた支援や畑づくり、散歩といった活動も取り入れ普段と違った環境の中でも安心して過ごしていただけるよう支援を行った。

今後もより良い支援ができるように職員のスキルアップに努め、心のこもったサービスを提供していきたい。

## 2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	7	7	8	8	8	10	10	11	11	12	11	9	112
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数	20	21	20	21	19	19	21	20	20	19	18	21	239
延利用者数	86	82	111	112	97	97	138	126	117	122	113	129	1330
1日平均利用者数	4.3	3.9	5.6	5.3	5.1	5.1	6.6	6.3	5.9	6.4	6.3	6.1	5.6

※主な欠席理由…体調不良、家庭の都合

## 3. 担当職員

山本・池田・坂井 ※1日2名勤務

## 4. 年間支援実施内容

障害を正しく理解し、適切な援助を行うことを基本に、利用者の安全、安心を保障し、持てる力を最大限に発揮できるように支援してきた。

具体的な支援内容は、送迎・おやつ・散歩・DVD鑑賞・野菜作り・ゲーム・学習などQOLの向上を目指した支援を行った。

開所時間 平日 14:00～17:45

## 5. 成果と課題

### 成果

- 利用者の安心安全な支援を第一に考えるとともに、利用者の心身の発達促進を図ることを目的とした生活支援や余暇活動を積極的に行った。
- 定期的にフロア内の掃除など快適な生活環境を提供した。
- 話しやすい環境を作る事を大切に考え、利用者が何を訴えているか傾聴支援を大切にしてきた。
- 発語が困難な利用者には表情で汲み取る事が出来るように努力した。

### 課題

- 個々の要求がバラバラなので、基本個別の支援になってしまう。
- 職員間の連絡や報告、相談の徹底など職員の職務・職責意識の高揚。
- 職員の専門性を高めるとともに、人権教育の充実、徹底。

## 6. 職員研修、職員会議、健康管理、衛生管理等実施内容

### 職員研修

- 4/20 栃木県自閉症協会40周年記念講演会
- 8/31～9/1 自閉症スペクトラム学会研究大会
- 11/30 栃木県自閉症協会 梅永先生後援会
- 12/21～22 自閉症スペクトラム学会関東甲信越支部資格認定講座
- 2/11 世界てんかんの日医療講演会

### 職員会議

生活介護と合同で毎月1回開催した。

勤務の体制で職員3人がそろって会議をすることができない。

利用者が困っている時など気づいた時にはその都度話をして情報を共有した。

### 健康管理

疾病の予防や早期発見、早期対応に努めた。

手洗い、うがいの慣行、消毒、体温チェック、こまめな水分補給など。

散歩など運動に心がけた。

## 7. その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

日中一時の部屋、多目的ホールなど毎日清掃を行い清潔を保った。